

第6章 仮 橋

第6章 仮 橋

| | |
|-------------|-------|
| 6.1 仮橋計画の基本 | 3-6-1 |
| 6.2 仮橋設計条件 | 3-6-1 |

第6章 仮 橋

6.1 仮橋計画の基本

仮橋の設計は、「道路土工指針 仮設構造物工指針」による。

6.2 仮橋設計条件

(1) 設計条件

1) 一般交通に供する仮橋の場合

自動車荷重は道路橋示方書を基本としB活荷重を標準とする。許容応力度の割増については1.25とし、地震時(レベル1地震動)を考慮すること。

2) 工事専用の仮橋の場合

A活荷重を標準とし、許容応力度の割増は1.5、地震時は考慮しないこととする。

3) 杭の支持力

杭の許容支持力を算出する際の安全率は、下表を基本とする。

表6.2.1 安全率

| | 常時 | 地震時 |
|---------------|----|-----|
| 一般交通に供する仮橋の場合 | 3 | 2 |
| 工事専用の仮橋の場合 | 2 | — |

【解 説】

- (1) 表6.2.1の安全率は一般的な値であり、構造物の重要度、荷重条件、設置期間、交通条件等によっては、この値を割り増すのがよい。

